兵庫県

産業労働常任委員会資料

令和8年11月16日

スタートアップと成長産業の振興について

産業労働部
新産業課

目次

Chapter01：スタートアップの振興

- スタートアップ支援の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- R8スタートアップの支援施策一覧（フェーズ別）・・・・・・ 5
- 「SHINKA Hyogo」の設置運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

【意識醸成 ～ アイデアづくり】

- 若者起業人材の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 若者向け1 on 1起業家密着事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- トライアル起業チャレンジプログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 大学発スタートアップ創出促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

【起業 ～ 成長】

- 起業家支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- イノベーション拠点の開設支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- ものづくりスタートアップ支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

【成長 ～ 更なる発展】

- アトツギイノベーション創出支援事業（HOJO）・・・・・・・・ 13
- ひょうごオープンイノベーション推進事業・・・・・・・・・・・・・・ 13
- ひょうごTECHイノベーションプロジェクト・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ひょうごスタートアップ成長支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

Chapter02：成長産業の振興

- 成長産業と地域未来戦略の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 成長産業育成コンソーシアムの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 試作開発支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 水素産業の海外展開支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 航空機産業の振興支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- 空飛ぶクルマ事業化準備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- ドローン利活用の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

Chapter 1

スタートアップの振興

スタートアップ支援の動向

【国の動向】

優れた技術シーズに基づく大学発スタートアップの創出に向けて、海外展開も見据えたディープテック・スタートアップの事業化支援

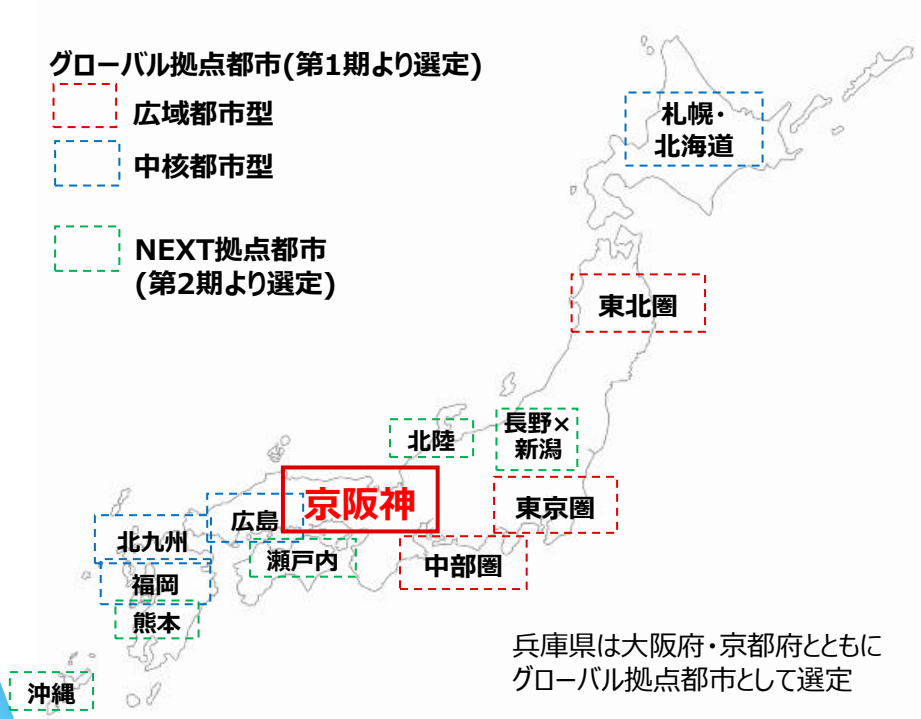
- 2020年 第1期「スタートアップ・エコシステム拠点都市」選定
- 2022年 岸田元総理が「スタートアップ創出元年」を宣言
- 2025年 第2期「スタートアップ・エコシステム拠点都市」の選定
- 2026年 内閣府「スタートアップ総力創出パッケージ」

SHINKA Hyogo

<全国の支援施設>

- 2017年 **起業プラザひょうご** 開設
- 2020年 **起業プラザひょうご(姫路・尼崎)**開設
- ***2024年*** ***Tokyo Innovation Base*（東京）** ***Fukuoka Growth Next*（福岡）** ***Station Ai*（愛知）**
- ***2025年*** ***HOOPSLINK KANSAI*（大阪）**
- ***2026年*** ***HooK*（北海道）**
- 2026年10月 **起業プラザひょうごは "SHINKA Hyogo"へ**

スタートアップ・エコシステム拠点都市※内閣府選定(R7.6)



兵庫県は大阪府・京都府とともにグローバル拠点都市として選定

第1期（R2～6）実績［兵庫県内］	第2期（R7～11）目標［兵庫県内］
1. スタートアップ創出数（実績）：197社 2. オープンイノベーション活動に参加する企業数（実績）：54社 3. 資金調達額（実績）：326億円	1. スタートアップ創出数（目標）：400社 2. オープンイノベーション活動に参加する企業数（目標）：100社 3. 資金調達額（目標）：700億円

R8スタートアップの支援施策一覧（フェーズ別）

➢ 事業フェーズに応じて、講座や資金支援、ビジネスマッチング等のニーズに即した支援を体系的に実施

意識醸成 → アイデア → 起業 → 成長 → 更なる発展

若者起業人材の育成





起業家密着同行（インプット）

1on1 起業家密着プログラム

スタートアップ創出促進（アウトプット）



起業家支援・イノベーション拠点の開設支援

ものづくりスタートアップ支援

HYOGO Monozukuri Frontier

アトツギイノベーション創出

HOJO 未来を拓くアトツギによるイノベーション創出

ひょうごTECHイノベーションプロジェクト

HYOGO TECH ひょうごTECH イノベーションプロジェクト

オープンイノベーション推進

HYOGO OPEN INNOVATION X

大学発スタートアップ創出促進 新

スタートアップ成長支援



スタートアップ支援の拠点施設

SHINKA Hyogo



「SHINKA Hyogo」の設置運営（R8予算 95,290千円）

SHINKA Hyogo

- 起業家の創出拠点として、コワーキングスペースの提供をはじめ、専門家相談やイベント等を実施してきた「起業プラザひょうご（神戸・尼崎・姫路）」を、10月よりスタートアップ支援の全県拠点として神戸に集約し支援機能を強化
- 新たなスタートアップ支援の全県拠点「SHINKA Hyogo」として始動

～R8.9（起業プラザひょうご）

起業家の 創出拠点

【直近５年間の実績（累計）】

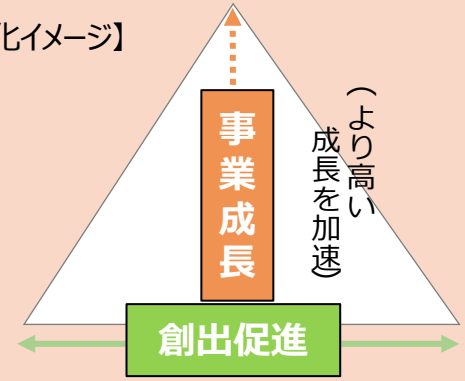
- イベント開催数　約370回
- 来場者数　約５万人
- 会員の資金調達額　約51億円



R8.10～（SHINKA Hyogo）

スタートアップの 創出＋成長拠点

【機能強化イメージ】



（ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ数を増やし裾野拡大）

会員数 182名
（R8.10時点）

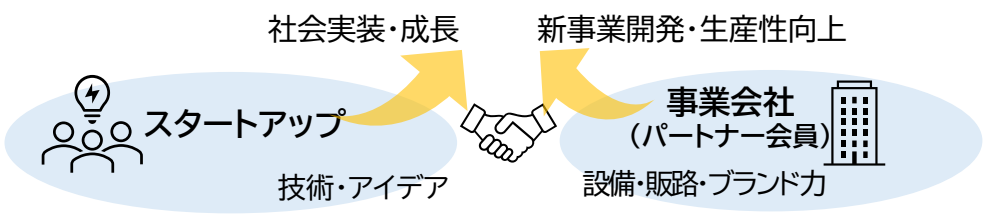


10月　キックオフイベント



【SHINKA Hyogoの機能強化】

1 オープンイノベーションの進化



■事業会社向け「パートナー会員制度」の創設

・分野別アドバイザーによる伴走支援

【分野例】

マーケティング　知財・法務　IPO・M＆A

・協業先のマッチング支援

・新規事業担当者どうしの情報交換会等

■企業連携窓口の常設化

スタートアップと企業をつなぐコーディネーターを配置

2 テック系スタートアップ支援の進化

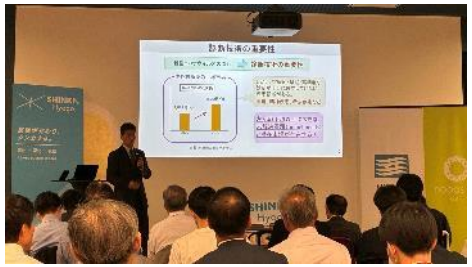
■大学発スタートアップの創出

ディープテック領域の研究シーズを発掘し、
事業化を支援



■研究シーズマッチング

大学の研究シーズを事業会社とマッチング



10月 兵庫県立大学×神戸大学
研究シーズ発表会

3 「ひょうごTECHイノベーション」の深化

■自治体連携窓口の常設化

スタートアップと自治体をつなぐ
コーディネーターを配置



4 他機関との連携深化

■金融機関・海外等の関係機関との連携

各機関の得意領域を活かした共同イベント、個別支援等



10月 SMBC主催
CVC/VC共創セッション

若者起業人材の育成（R8予算 10,416千円）



1. ひょうご起業ゼミ

➢ 社会課題から起業アイデアを考える短期プログラムを県内の中学校・高校に導入

コース名	概要	導入校数
導入コース	「探究編」「キャリア教育編」「起業家育成編」の3テーマから自由に選択できる1日のコース	14校
伴走コース	起業のプロのアドバイスを通じてビジネスプランをブラッシュアップする1コマ×6日のコース	8校





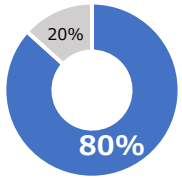
【成果】

【 参加校数・人数 】

年度	校数	人数
R6	13校	851名
R7	17校	1251名
R8	22校	1146名（予定）

【 受講後の起業関心度 】

意識変容



■ もともと興味はなかったが、興味を持った

■ もともと興味はなく、変わらず興味がない

2. スタートアップチャレンジ甲子園

➢ SDGsの達成をテーマに、マインドの高い学生等によるビジネスコンテスト

【R8ファイナリスト】
市立西宮高校、姫路東高校、
淳心学院高校、神戸大学



［参考 過去出場者の実績］

R７スタートアップチャレンジ甲子園
ジュニア枠 最優秀賞受賞



兵庫県立長田高等学校
黒阪さん

パイナップル由来で安全、消毒と栄養補給を兼ねる、世界初の食べることができる消毒液を開発
⇒ 日本政策金融公庫主催「高校生ビジネスプラン・グランプリ」で 審査員特別賞（全国3位）を受賞

R７起業家甲子園 総務大臣賞



神戸女学院高等学部のみなさん

R8.3月に行われた「令和7年度起業家甲子園」で総務大臣賞（大会最高賞）を受賞

若者向け１on１起業家密着事業（R8予算 6,309千円）

1on1 起業家密着プログラム

➢ 起業に意欲のある若者が先輩起業家に密着同行し、経営のリアルに触れる機会を提供

STEP1

事前講座 密着先企業の理解及び目標の整理

STEP2

起業家密着（5日間）
・商談・意思決定等の経営現場の体験
・起業アイデアに関する壁打ち・助言

フォローアップ
・行動計画の策定

STEP3

成果報告会
・行動計画の発表
・起業家との継続的な関係構築

合同開催 STARTUP YOUTH FES HYOGO

【R8 マッチング事例】（企業：6社×採択：6名）



小上馬さん（神戸大学）

山岡 源
株式会社VERIPATH
【ITサービス業】



松下さん（関西学院大学）

須澤 美佳
株式会社ママントレ
【女性人材活用支援】



松井さん（兵庫県立大学）

福原 悟史
株式会社GA
【食品関係】

【R7主な成果】 法人化実績：2件

＜法人化事例＞

氏名	事業内容
岡本 真奈（兵庫県立大学）	ふるさと納税の寄附者を関係人口へ転換するコミュニティ・プラットフォーム事業

トライアル起業チャレンジプログラム（R8予算 14,002千円）



➢ ビジネスアイデアを有する若者を対象に、実証プログラムを実施

STEP1

事前講座 ビジネスモデル構築に必要なアイデア創出・仮説検証

STEP2

実証プログラム
・メンターによる伴走及びビジネスプランの磨き上げ支援（活動支援金20万円を給付）

STEP3

成果報告会
・実証成果の発表
・支援機関等とのネットワーク形成

【R8 採択事例】（採択：10名）

氏名（所属）	ビジネスアイデア
成富さん（神戸大学 大学院）	小売店向け棚割り業務効率化サービス
赤松さん（神戸女学院大学）	管理職向けタスクマネジメント支援サービス

【R7主な成果】 法人化実績：3件

＜法人化事例＞

氏名	事業内容
森下　日菜子（神戸大学）	部活動の地域移行支援サービス



意識醸成 → アイデア → 起業 → 成長 → 更なる発展

大学発スタートアップ創出促進事業（R8予算 14,060千円） 新

➢ ディープテック領域（素材、AI、医療、バイオ等）における大学発スタートアップの創出を目指し、県内大学とともに事業化可能性の高い研究シーズを発掘し、事業化に向けた市場調査や技術検証、競争的資金の獲得などを伴走支援

上半期 ／ 下半期

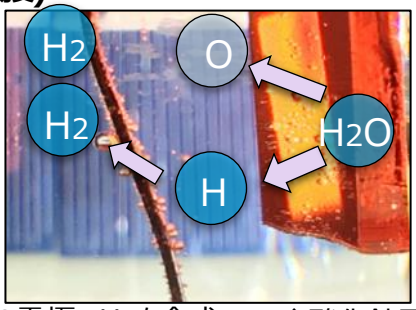
①シーズの収集	②シーズの選定	③個別支援対象の決定	④個別伴走支援	⑤成果報告会
大学公表シーズ集から情報収集 **3,447シーズ**	EIR(客員起業家)、専門機関により、有望シーズの掘り起こし **39シーズ**	産連本部、研究者とのヒアリングを経て選定 **5シーズ**	EIRが行う市場調査、技術検証を伴走支援し、大学発スタートアップ支援機関「KSAC」等を始めとした競争的資金を申請	VC等に対し、事業化に向けた取組状況報告 **【支援後の採択者の姿】** ①想定顧客・課題・利用場面を踏まえ、用途仮説が設定されている。 ②想定用途に必要な性能を踏まえ、検証項目・目標値が設定されている。

【R8年度 採択シーズ】

①水素精製パネルの開発(神戸大学・理学研究科　立川教授)

現状
- 既存の水素精製には電力が必要。
- イリジウムやプラチナ等の希少素材が必要。

展望
- 水素精製に必要なのは太陽光。
- 電極素材も安価な酸化鉄で代替。

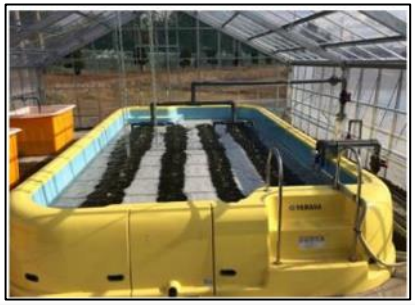


反対の電極でH2を合成　　↑酸化鉄電極

②バイオ燃料となる珪藻類の高効率培養法の開発(兵庫県立大学・理学研究科 菓子野 准教授)

現状
- バイオ燃料生産に原料投入量が多く、生産コストが高い。
- 原料の育成に大規模な敷地面積が必要。

展望
- バイオ燃料原料となる安価な珪藻類に特殊光を照射し、小規模な敷地面積で大量培養を可能にする技術を開発。



No	大学名	学部・学科 研究者名	研究概要
③	兵庫県立大学	高度科学研究所 早勢助教	**【次世代半導体の検査機器の開発】** 企業内での半導体検査を可能とする検査機器を開発し、検査期間を圧縮。
④	関西学院大学	理学部 大間知准教授	**【超高速・微細な粒子を捉える光学技術開発】** 特殊な光を活用し、数千兆フレーム/秒での撮影で、明るさと視野角を保持する技術を開発。
⑤	兵庫医科大学	薬学部 所助教	**【難治性アレルギー治療薬の開発】** アレルギー症状の原因細胞を抑制する根本治療薬を開発。

起業家支援事業（R8予算 182,820千円）

➢ 地域経済の活性化につながる新たな事業の創出を促進するため、県内で起業する者に対し、事業所開設費・専門家経費などの起業に要する経費の一部を助成

【R8主な採択枠】

採択枠	一般事業枠	ふるさと枠	若者枠	社会的事業枠
各枠の特色	起業全般	UJIターン	30歳以下	地域課題解決
補助額	100万円(1/2以内)			
採択件数	41件	19件	30件	26件

【支援実績】（H25～R7累計）

支援企業	総売上高	新規雇用創出
約1,560件	約600億円	約2,000人

【R7採択事例　社会的事業枠】

Switch.（丹波市）
空き倉庫を再生し、飲食業をメインに、ワークショップ・イベントを融合した交流拠点を運営。地域コミュニティの活性化を図る。

イノベーション拠点の開設支援（R8予算 25,713千円）

➢ 成長産業５分野で新たに事業所を県内に開設する事業者に対し、立上げに必要となる経費を補助

補助率：1/2

対象経費	期間	補助内容	対象経費	期間	補助内容
建物改修費	開設時	100万円	賃借料	3年間	60～90万円/年
備品・ソフトウェア取得費		50万円	人件費		200万円/人・年

【R7支援事例】

株式会社IDDK（神戸市）

レンズの要らない半導体センサーベースのハイパースペクトル光源顕微観察装置を用いた解析



ものづくりスタートアップ支援事業（R8予算 20,320千円）

HYOGO Monozukuri Frontier

➢ 伴走メンタリングやセミナー等の伴走支援を通じて、本県の強みである“**ものづくり**”領域でのスタートアップ等を支援

【支援内容】

8月 ～ 9月 ～ 2月 ～ 3月 ～ 次年度以降

Step1
ゴール設定・事前面談
知識習得セミナー
ワークショップ

Step2
伴走メンタリング
専門家による支援
試作品開発等への補助金
（上限100万円・補助率1/2）

Step3
成果発表会

Step4
上位ステージの支援施策へ接続
Leap Forward HYOGO
HYOGO TECH
ひょうごTECH イノベーションプロジェクト

【R8年度採択企業の例】

フォトン・バイオ・アイ株式会社 姫路市
Photon・Bio・Ai

【生物除去・除菌が可能な光照射機器開発】

課題 海中設備に付着したフジツボの除去や医療機器の除菌が可能となる製品(藍色LED照射機器)価格が高額であることが課題。

目標 製品コストを1/3程度まで縮小した仕様の開発を目指す




（左）藍色LED照射機器
（右）機器効果の実証実験の様子。LED照射で生物の付着が除去された。(右側パネル)

【R7年度採択企業の例】

魁サイエンティフィック㈱ たつの市

kai scientific CITIUS

【超高強度X線の検出システム開発】

課題 超高強度X線の照射時に生じる、水滴や微細なほこりなどの不純物を原因とし、分子構造などの検出精度が低下。検出精度向上に向け、設備導入資金の調達を目指す。

成果 金融機関から融資を獲得し、検出器内部の不純物除去に成功し、検出精度が向上。




（左）センサー内部の水分除去機器
（右）照射されたX線を検出するセンサー

アトツギイノベーション創出支援事業(HOJO)

（R8予算 10,511千円）

➢ 本業の変革や新市場への参入などに意欲のある県内の後継者・後継予定者（アトツギ）に対し、自社の「経営資源」と、企業の開放特許等の「外部シーズ」を掛け合わせた新事業開発を支援

①事前説明会



新事業に取り組む意義や先輩アトツギの体験談等を説明

②伴走支援プログラム



新たなビジネスプランの策定や外部シーズ活用等を専門家が伴走支援

③最終報告会



本年度参加者の取組成果を発表し、県内アトツギの交流・挑戦を促進

【R7採択者の実績】



株式会社マルキン（加東市）

第6回アトツギ甲子園決勝大会→優秀賞受賞

＜日本の刃物の素晴らしさを世界に！
HONMAMON JAPAN＞

【R8採択事例】



株式会社土田化学（丹波市）

＜射出成形技術で丹波の木質資源に新たな価値を創る＞

ひょうごオープンイノベーション推進事業

（R8予算 14,485千円）

➢ スタートアップと県内企業のオープンイノベーションの取組を推進し、イノベーション創出を支援

Ⅰ エントリーセミナー

神戸、姫路、尼崎で開催
（55社）

Ⅱ 戦略策定プログラム

Ⅲ 伴走プログラム

10社採択

【過去の実績】

白鶴酒造㈱（神戸市）

酒類の製造過程で発生する醗酵由来CO2

×

スパイスキューブ㈱（大阪府）

小型の室内農業装置



植物の成長促進にCO2を活用し、さらにその植物をお酒の原料として利用

【R8採択事例】

フジッコ㈱（神戸市）

健康データを活用したヘルスケア分野への食品の展開

ショーワグローブ㈱（姫路市）

手袋の繊維・被膜技術による作業支援ウェア（アシストスーツ）の開発

新明和工業㈱（宝塚市）

未活用ガソリンスタンド跡地の地域拠点（防災・物流等）への再生

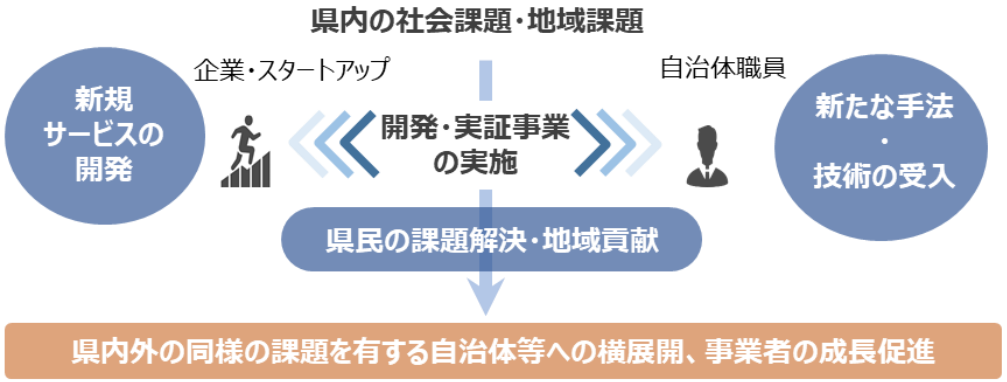
ひょうごTECHイノベーションプロジェクト（R8予算 28,421千円）

HYOGO TECH ひょうごTECH イノベーションプロジェクト

➢ 直面する社会課題をスタートアップ事業者等が有する革新的な技術を活用して解決を図り、その成果を同様の課題を有する他自治体に横展開

【事業概要】

- 県は実証実験に要する経費を補助（補助率1/2 最大50万円/件）





ひょうごTECHイノベーションプロジトガバメントピッチ（R8.8.3）

【R8実証課題の例 】

No	自治体	事業者	課題
1	南あわじ市	㈱iiba	部活動の地域クラブへの円滑な移行
2	加西市	㈱ジオグリフ	放置空き家の流通の促進
3	豊岡市	㈱バニヤンズ	ラストワンマイルの地域物流
4	県立はりま姫路総合医療センター	㈱Rehab for JAPAN	患者へのリハビリ提供時間の最大化
5	豊岡市 県産業労働部	ランディット㈱	観光地の混雑状況の可視化

【主な実証成果(R4～R7)】

年度	R４	R５	R６	R7
実証数	６課題	９課題	１８課題	１４課題

公共調達等達成率72%(R4～R6)
33課題のうち24課題で導入

※R7年度の実証（14件）は、
現在も商談や実証継続が進行中

ひょうごスタートアップ成長支援事業「Leap Forward HYOGO」（R8予算 18,047千円）

➢ 今後の大きな成長が見込まれ、兵庫を代表するスタートアップへの飛躍が期待される５社を選定し、協業先・販路開拓を中心とした集中的支援を実施

【事業概要】



＜支援内容＞

協業先・販路開拓支援
広報・PR支援
資金調達支援
定期メンタリング　など

【R8採択スタートアップ】

昨年度を超える18社から応募があり、審査を経て採択５社を決定



iPresence株式会社
（神戸市東灘区）
遠隔操作ロボットとデジタルツイン技術により、場所の制約を超えた働き方やサービス提供を実現



合同会社CYCLER
（神戸市中央区）
高齢者向け次世代４輪モビリティと予防医療を組み合わせ、健康寿命の延伸と地域の移動課題解決に取り組む



株式会社先端化学研究所
（神戸市中央区）
県大発スタートアップ。高耐久かつ低コストなペロブスカイト太陽電池を開発し、エネルギー課題を解決する基幹電源を目指す



SocialBridge株式会社
（神戸市兵庫区）
廃食油を航空燃料等へ再資源化するサプライチェーンを構築し、地域循環型社会の実現と脱炭素化を推進

株式会社TearExo
（神戸市灘区）
神大発スタートアップ。涙液を活用した乳がん検査技術を開発し、女性の健康支援と乳がんの早期発見に取り組む



【R7採択スタートアップの主な実績】

株式会社Atomis
（神戸市中央区／次世代多孔性材料）
・当プログラムを通じ企業とのNDA4件締結
・R7年にノーベル化学賞を受賞した、京大北川教授が顧問



株式会社Compass
（神戸市中央区／就業支援プラットフォーム）
・県労政福祉課において10月より事業開始
・累計**7億円の資金調達**を達成



Chapter 2

成長産業の振興

成長産業と地域未来戦略の動向

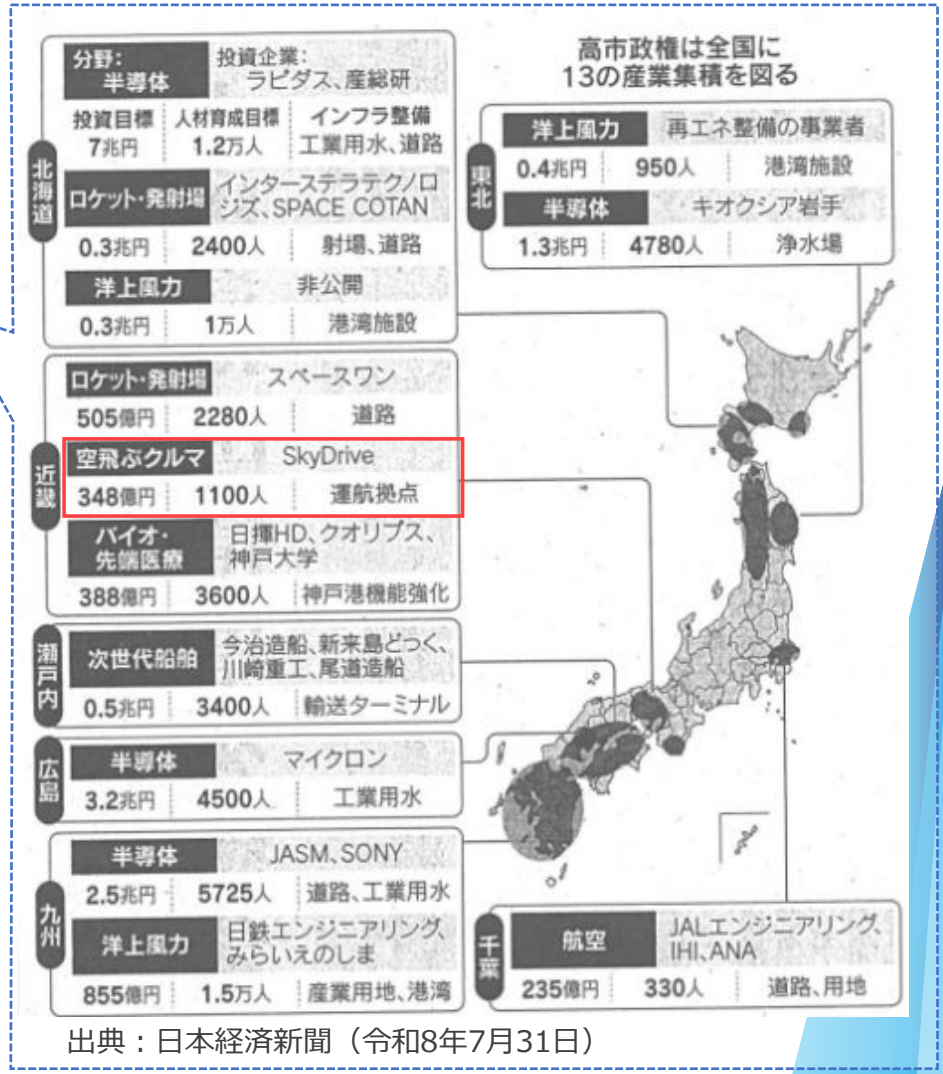
▷ **地方に大規模な投資を呼び込み、各地に産業クラスターを戦略的に形成**していくとともに、地域資源を最大限に活用し、**地場産業を含む地域の産業、地域経済の持続的な成長**を図っていくことを目標とした「**地域未来戦略**」を本年夏に国が策定。

▷ 地域未来戦略に関する関係副大臣会議(10月)で「**航空機**」「**空飛ぶクルマ**」分野の県プラン（B 地域産業クラスター計画）を公表

【地域未来戦略３類型の位置付け】
戦略の政策パッケージ（３類型）の構成

類型		策定者	ねらい
A 戦略産業クラスター計画		国	17の戦略分野に関して企業の大規模投資を中心に作成
地域産業成長プラン	B 地域産業クラスター計画	県及び政令市	重点支援すべき産業分野を特定し育成を図ることで、地域全体で産業競争力の底上げを行う
	C 地場産業成長プラン	県及び市町	地域資源を活用する企業を支援し、付加価値創出と域外需要の獲得を図り、面的に地域経済を支える事業を創出





出典：日本経済新聞（令和8年7月31日）

成長産業育成コンソーシアムの推進（R8予算 16,966千円）

➢ 成長産業分野（①ロボット・AI・IoT、②航空・宇宙、③環境・水素等新エネルギー、④健康・医療)におけるイノベーションを促進するため、R2年にコンソーシアムを設置

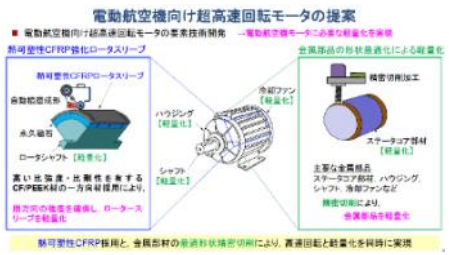
【コンソーシアム分野・加入企業実績(R8.9末時点)】

①ロボット・AI・IoT	②航空・宇宙	③環境・水素等新エネルギー	④健康・医療
			
69社加入	**90**社加入	**59**社加入	**56**社加入

【事業概要】

①マッチング促進、プロジェクトへの支援

➢ コンソで取り組むプロジェクトを専門家を交えて実施（アドバイス、進捗管理）



Yamada Power Unitによる電動航空機用超高速回転モーターの研究開発

R7 実績 • 共同プロジェクト件数：11件

②産学官連携の強化

➢ 産学官の連携強化のため、最新の研究成果などを発表、新たな開発事業につなげる



講演会の様子



講演者と参加者間での交流会の様子

R7 実績 • 産学連携実施数：2件

③国プロジェクトの獲得等支援

➢ 国のGo-Tech事業(成長型中小企業等研究開発支援事業)など、進んだ研究開発プロジェクトを実施するため、NIROがプロジェクトをサポート



テックラボがGo-Tech事業に採択

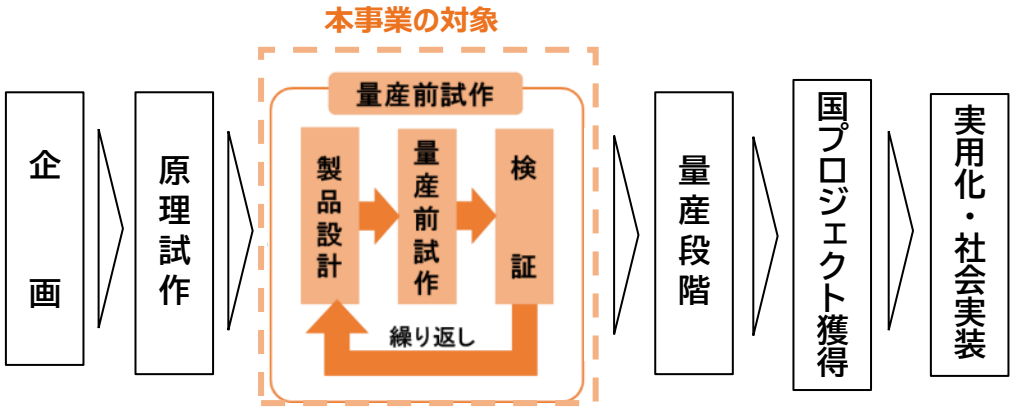
R7 実績 • 国プロジェクト獲得数：３件

試作開発支援（R8予算 30,000千円）

➢ 成長産業分野への企業参入を促進するため、(公財)新産業創造研究機構(NIRO)が運営する「成長産業育成コンソーシアム」の枠組みを活用して新製品の社会実装をめざす中小企業の支援を実施

【事業概要】 新製品の**試作開発経費**を支援
（補助金額：300万円（上限）
補助率：1/2）

【採択件数】 7件



【採択事例】

航空・宇宙	環境・水素等新エネルギー	健康・医療
新規メーカー向け航空機エンジン部品の試作開発 （㈱城洋(姫路市)） • 難削材に特化した自社の加工技術を水平展開し、新規顧客向けエンジン部品を試作  加工後のエンジン部品（ディスク）のイメージ図	**高圧水素容器用 残量表示器内蔵型バルブの試作開発** （㈱ネリキ(神戸市西区)） • 高圧水素の残量確認は目視が主流であるが、機械式の残量表示機能を内蔵したバルブを試作する 	**透析出血感知センサー「ブリーディングセンサー」のユーザビリティと安全性の向上** （㈱アワジテック(神戸市兵庫区)） • 現行製品は電源操作が扱いづらく、機能不全を招く危険性がある。ヒューマンエラーを最小限に抑えることを目指す  

水素産業の海外展開支援（R8予算 12,527千円）

➢ インフラ整備が先行する欧州を主として、水素分野で優れた技術・製品を有する県内企業の販路拡大を支援することで、産業競争力を強化

【対象】

水素関連製品の海外事業展開に取り組む県内企業　6社

【支援内容】

※SH州＝シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州

Ⅰ　研修プログラム	Ⅱ　出展（県・神戸市連携）	Ⅲ　日・欧間人材交流
・水素市場の世界動向 ・英語プレゼン研修　　など	・欧州最大規模の水素技術展示会 Hydrogen Technology World EXPO に県内企業が出展	・SH州と兵庫県の交流会を実施 ・SH州の水素施策など現地で水素技術や製品に携わる研究者等から取組を紹介


英語プレゼン研修



Hydrogen Technology World EXPO


人材交流会

【R7の実績】

- 欧州の大手部品メーカーにサンプル送付し、良好な評価を得られた。
  今後、本番サンプルを発送予定。量産試作への適用も計画。（神港精機）
- 欧州の宇宙防衛分野大手企業と同社製品への採用可能性について商談を実施。
  NDA締結に向けて動いている。（山本電機製作所）

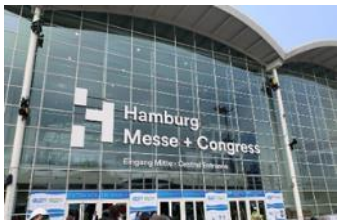




【参考】

【概　　要】Hydrogen Technology World EXPO 2026　（独・ハンブルグメッセ）
【会　　期】令和8年10月20日（火）～10月22日（木）
【規　　模】出展社数900社以上、来場者数18,000名以上（R7実績）





航空機産業の振興支援（R8予算 25,292千円）

➢ ものづくり産業の中心を担ってきた県内航空・宇宙産業が持続的に発展していくため、専門家による技術アドバイスや販路拡大などをパッケージとして支援

【事業概要】

1. セミナー

中堅・中小企業からなるサプライヤーが新たに求められるニーズに特化した「次世代を見据えた航空・宇宙産業セミナー」を実施

＜開催テーマ＞

第1回～第2回航空機産業
第3回～第4回宇宙産業
第5回デュアルユース（民間機及び防衛機）
第6回民間航空機開発



2. 専門家派遣

航空・宇宙関連企業の新たな環境変化に対応した技術・品質管理指導を実施

＜支援内容＞

・専門家派遣
生産技術など、分野に特化した専門家を用意
・認証OJT
JIS Q 9100等の認証取得に向けた取組を支援



＜実績(R8.9時点)＞

・専門家派遣　27件
・認証OJT　6件

3. 海外出展

販路拡大のため、B to Bに特化した海外展示会出展を支援

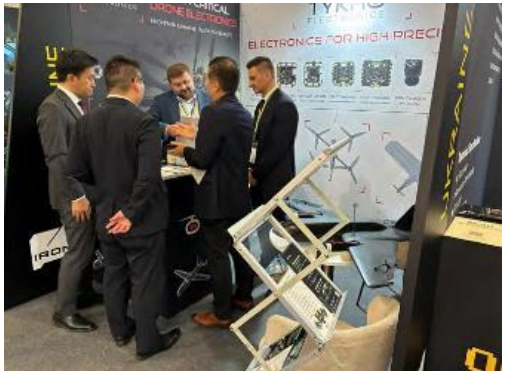
＜支援内容＞

AIRTEC2026（独）等への共同出展
渡航費等を上限50万円(補助率1/2)補助



＜出展社の声＞

- 宇宙・無人航空機向け用途に、耐熱材や高熱伝導材などにつながる引き合いが多く、材料に高い関心が寄せられた
- レアアースへの依存低減はサプライチェーン戦略上の重要課題として認識されており、磁石フリーモーターのニーズが多く寄せられた

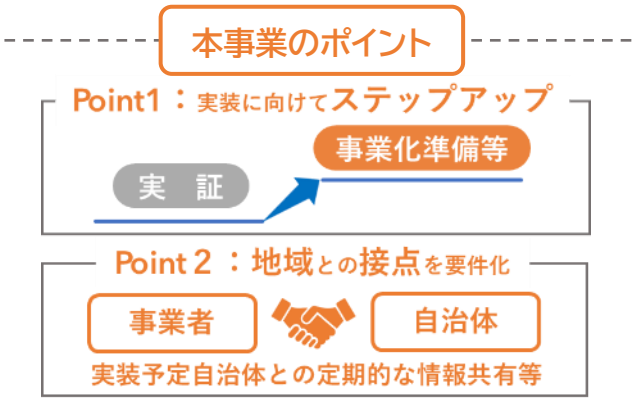


空飛ぶクルマ事業化準備事業（R8予算 60,366千円） 新

➢ 空飛ぶクルマの早期実装を目指し、「実証等の支援」から「事業化準備等支援」へ段階を進め、県内実装に直結する取組を支援

【補助内容】

区分	内容
対象事業	(1) 商用運航の実現に資する事業 (2) 離着陸場整備事業 (3) 離着陸場候補地調査等事業
補助上限 補助率	(1)、(2)30,000千円、(3)5,000千円 いずれも補助率1/2





豊岡市における地元も巻き込んだ
空飛ぶクルマへの機運醸成の例

【R8採択事業】



豊岡（城崎） 離着陸場整備事業 ④



離着陸場候補地調査等事業 神戸（有馬）

姫路 離着陸場候補地調査等事業 ⑨



⑥ 離着陸場整備事業 神戸



神戸 商用運航の実現に資する事業

② ⑤ ⑦ 離着陸場整備事業 神戸

淡路 離着陸場整備事業 ③

① 離着陸場整備事業 淡路



淡路 商用運航の実現に資する事業 ⑧

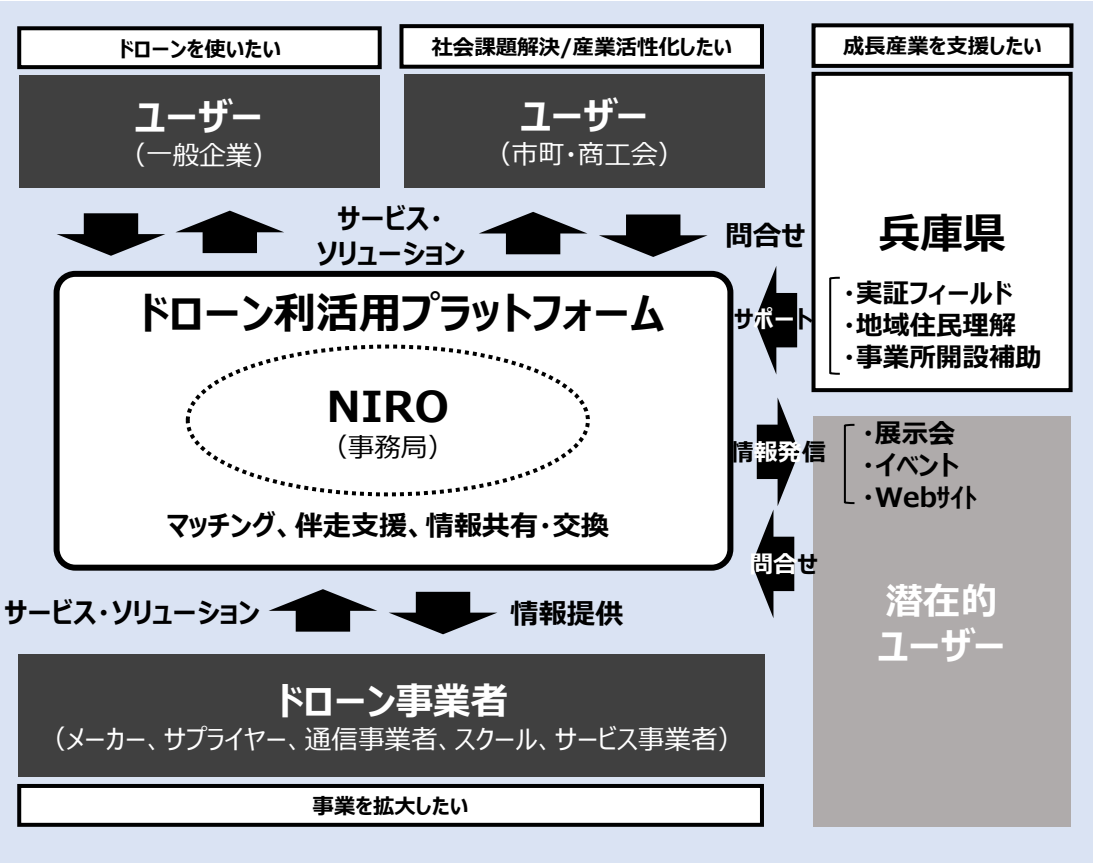
ドローン利活用の取組

➢ ドローン事業者、国・自治体、大学などが連携したプラットフォームをNIRO内に設置し、企業マッチングや実証支援コーディネート等を通じて、県内におけるドローン利活用の拡大を図る

【会員数(R8.9末時点)】

会員数：**232社・機関**

【事業概要】



【実証フィールドの提供】

企業庁と連携しながら播磨科学公園都市をドローン実証フィールドとして提供



クレーンを用いたドローン用安全装置のパラシュートの開傘試験の様子（日本化薬）





「ドローン大規模実演会」（R8.11.1）

【主な成果事例(R8.11.18)】 **全国初**

兵庫県、豊岡市及び日本郵便株式会社と、中山間地域の物流機能維持に関する「三者間連携協定」を締結予定



実証で開発した配送システム

兵庫県